



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

vol.33



左から 原院長、内田医師、織部医師、長嶋医師、中村理事長



新任医師紹介

本年4月、当院に新しく迎えた仲間をご紹介します。内田そのえ医師は、これまで大分大学附属病院、大分県立病院、大分医療センターなど県内の中核病院で経験を積んだ呼吸器内科専門医です。肺炎、感染症などの呼吸器疾患、内科全般を担当します。

織部元廣医師は、すでに本年1月より勤務していますが、大分赤十字病院勤務後、18年間開業し、日本の関節リウマチ治療の発展を牽引してきた実績などは誰もが認めるところです。木下、宮崎に新たな2人が加わり、当院の内科診療を更に充実させます。

長嶋優医師は、大分大学附属病院などで経験を積んだ整形外科専門医で、ひざ、股関節の手術、整形外科疾患の一般外来を担当しています。原院長の強力な相棒となることと期待しています。肩関節疾患専門の荻本非常勤医師の外来診療枠の増加など、整形外科診療体制を更に充実させます。

頼もしい仲間たちを迎え、気持ちも新たに、原院長、吉岩副院長、高谷センター長を中心に、患者の皆さまの笑顔のために、職員全員の力を合わせていきたいと思っています。



(理事長 中村 英次郎)

2024年診療報告



▲院長 原 克利

2024年は、入院患者数、外来患者数や手術数は前年を上回りました。入院患者数は2,282人、外来患者延数は78,015人で1日平均265.4人、病床稼働率は99.7%でした。また、各疾患の平均入院日数は徐々に減少しています。この要因として、手術に

おいては内視鏡手術など侵襲が少なくなるような工夫を積み重ね、術後には麻酔科の牧野剛典医師を中心とした術後疼痛管理チームによって痛みをコントロールし、リハビリがスムーズに行えるように活動している成果とされます。患者さんが負担なく、より早期に回復できる方法を、多職種で適宜見直し、改良しています。

主要疾患患者数 (人)

腰部脊柱管狭窄症	358
腰椎椎間板ヘルニア	128
変形性膝関節症	283
変形性股関節症	210
腰椎すべり症	121
腰椎圧迫骨折	123

疾患別平均入院日数 (日)

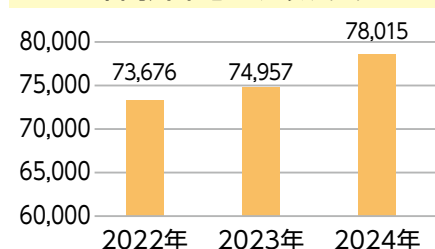
腰部脊柱管狭窄症	10.4
腰椎椎間板ヘルニア	9.6
腰椎すべり症	10.7
変形性膝関節症	16.8
変形性股関節症	16.5
腰椎圧迫骨折	17.9

手術件数 (件)

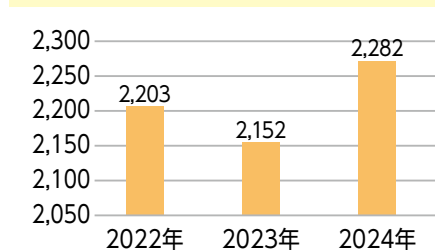
椎弓切除術	120
内視鏡下椎間板摘出術	46
椎間板摘出術	39
顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術	63
脊椎固定術（後方）	101
椎弓形成術	41
椎間板内酵素注入療法	82
人工関節置換術（膝）	323
人工関節置換術（股）	221
関節鏡下肩関節断裂手術	25
関節鏡下半月板切除術	21
人工骨頭挿入術（大腿）	35
骨折観血的手術（大腿）	57
骨折観血的手術（前腕）	61
皮膚腫瘍摘出術	56
腱鞘切開術	166
神経剥離術	25
手根管開放術	57
眼瞼下垂症手術	11

前年比101%の増加となりました。橋本裕之医師や大久保ありさ医師の形成外科手術が増加傾向です。このうち1,304件が全身麻酔で施行されており、麻酔科医3人体制である当院の特色と思われます。一昨年導入された術中3Dイメージング、ナビゲーション装置のO-arm®を用いることで、従来の手技では困難であった部位の手術も行えるようになりました。2025年1月には4K関節鏡を導入し、より高精細画像での手術が可能となっています。昨年より引き続き脊椎外科の金子剛士医師を非常勤医師として迎え、脊椎内視鏡を利用した低侵襲で早期回復が望める手術手技を導入しています。

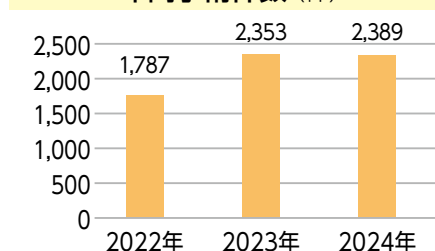
年間外来患者延数 (人)



年間入院患者数 (人)



年間手術件数 (件)



の手術待機期間が48時間以内となるように、内科や麻酔科と整形外科が連携して安全な術前術後管理に努めています。

ペインクリニックの高谷純司医師を中心とした腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）は年間82件が行われ、全国有数の症例数であり、安全性や有効性の評価・検討を随時学会へ報告しています。

多血小板血漿療法（PRP療法）は、主に変形性関節症やテニス肘に行われ、昨年は243件でした。自由診療での治療にはなりますが、手術を回避したい患者さんの要望に応えられるように費用負担軽減の工夫を継続いたします。

手関節鏡導入

このたび当院では、手関節鏡（てかんせつきょう）を導入し、手首の関節に対してより負担の少ない治療が可能になりました。手関節鏡とは、直径2〜3mmほどの細いカメラや道具を手首の関節に挿入し、関節の内部をモニターで確認しながら治療を行う方法です。

これまでの手術では、関節を大きく切開する必要があり、術後の痛みや回復までの時間が長くなることがありました。しかし手関節鏡を用いることで、皮膚の切開が最小限に抑えられるため、術後の痛みの軽減と早期の社会復帰が期待できます。



▲手関節鏡を用いた手術の様子

手関節鏡は、手関節の骨折や捻挫後に続く痛み、三角線維軟骨複合体（TFCC）損傷、関節リウマチによる滑膜炎、手関節内の骨折や靭帯損傷などの診断や治療に有効です。たとえばTFCC損傷は、手首の小指側に痛みが出る疾患で、スポーツや転倒、加齢によって発症します。関節鏡を用いれば、繊細な部分を正確に確認しながら、傷を最小限にとどめて治療することが可能です。また、当院で多い手根管症候群でも、従来法と比較して術後の痛みが軽いところ好評をいただいています。

今後も最新の医療技術を積極的に取り入れ、患者さんにとって安心で確実な医療を提供して参ります。（手外科専門医 大久保ありさ）



▲術後の痛み軽減と早期回復を目指して

小・中・高校生の腰痛について講演会 2025年2月5日（水）開催

徳島大学より医師の酒井紀典先生（徳島大学高度先進整形外科診療部特任教授）、徳島文理大学より理学療法士の後藤強先生（徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科講師）をお招きし『小・中・高校生の腰痛について』講演会を開催しました。

当日はスポーツをしている小・中・高校生やその保護者、スポーツ指導者の方、理学療法士や作業療法士の方など100名を超える方々にお集まりいただきました。

スポーツで腰に痛みを抱え当院に通院している中高生を対象に個人相談を受け、大人と子どもの「骨の違い」について説明をしていただきました。



▲スポーツに打ち込む子どもたち、その関係者の方々に参加いただきました

第4回大腿骨近位部骨折手術後の看護・リハビリテーション技術講習会 2025年3月21日（金）開催

高齢者に多い大腿骨近位部骨折の治療や看護のポイントについて学ぶ技術講習会を開催しました。

日頃から医療連携でお世話になっている近隣の医療・介護施設より、看護師、介護士、理学・作業療法士、ソーシャルワーカーの方など約30名にお集まりいただきました。当院の原院長をはじめ、看護師や作業療法士による脱臼予防のための看護やリハビリのポイントについて講演を行い、実際に車いすやベッドを使用し実技講習を行いました。当院は今後とも皆様との医療連携に努めて参ります。



▲術後患者さんの看護・リハビリについて実技講習



外来担当医師のご案内

	担当医師名	月	火	水	木	金	土
内科	明野中央 在宅医療介護センター長 木下 昭生	午前 ○		○	○	○	○
		午後					休診
	回復期リハビリテーション部長 宮崎 真理	午前					
		午後		○	○		休診
	織部 元廣	午前 ○	○		○		
		午後 ○	○		○		休診
	内田そのえ	午前		○		○	○
		午後 ○			○	○	休診
	山中茉莉夢	午前			○		
		午後					休診
形成外科	形成外科部長 大久保ありさ	午前		○		○	○
		午後		15:00~		15:00~	休診
	◎形成外科の診察は、完全予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。						
	橋本 裕之	午前			○		
		午後 ○					休診

QRコードを読み込むと当院ホームページの「外来担当医表」「医師不在予定」のページへアクセスできます



	担当医師名	月	火	水	木	金	土
整形外科	理事長 中村英次郎	午前 ○		○	○	○	○
		午後		15:30~			休診
	こつ・かんせつ・リウマチ センター長 藤川 陽祐	午前 ○	○		○	○	○
		午後					休診
	院長 原 克利	午前		○			
		午後 ○			○		休診
	副院長 こつ・かんせつ・リウマチ センター 脊椎外科部長 吉岩 豊三	午前			○		
		午後		○ 脊椎専門		○	休診
	松本 博文 第2木曜日午後休診	午前		○	○		
		午後 ○	○		○		休診
ペインクリニック	長嶋 優 午後の診察は16時まで	午前		○			
		午後 ○				○	休診
	荻本 晋作	午前				○ 肩専門	
		午後				○ 肩専門	休診
◎荻本晋作の金曜日の外来診察は、5月からになります。							
	痛みセンター長 高谷 純司	午前 ○	○	○			○
		午後 ○			○		休診
◎ペインクリニックの診察は、完全予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。							



I N F O R M A T I O N



診療科目

内科・整形外科・リウマチ科
形成外科・リハビリテーション科
麻酔科・ペインクリニック内科
呼吸器内科・放射線科

受付時間

月曜日～金曜日 8:30～11:30
14:00～17:30
土 曜 日 8:30～11:30
日曜日・祝祭日 休診

病院理念

医療・介護を通じ、
患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一、家庭的な優しい医療介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進病気の予防に努めます

患者さんの権利について

私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利（セカンドオピニオン）



- 大分駅より車で20分
- 高城駅より車で10分
- 米良インターより車で10分
- あけのアクロスタウンより徒歩5分



医療法人社団 唱和会

明野中央病院

発行日 2025年4月

〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号

TEL 097-558-3211 (代表) FAX 097-558-3709

E-mail owl@akenohp.jp

<https://www.akenohp.jp/>